

case file #1 susukino danchi renovation

## 狭い 2DK から広々とした 1LDK へ。変化した暮らしに合わせた工夫も。

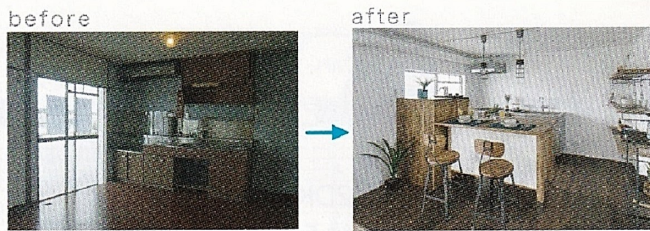
当初、家族のための新しい居住空間として開発された団地の間取り、いわゆる「田の字」プランはその建設から 30 年以上が経過している。その間、家族形態やそこに住む人のライフスタイルは大きく変化し、当時斬新だった間取りは現代に合致しなくなった。

そこで、構造に影響しない間仕切壁を解体し、排水管の位置による水廻りのレイアウトの制限はあるものの、大きな空間を改めて大胆に仕切ることからはじめた。

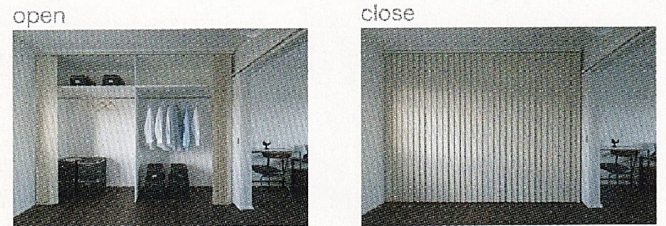
両親と数人の子供のための 2DK の間取りをシングルや子供のいない夫婦向けの 1LDK に変更。家の中心にあった

キッチンが壁面に移動させることで、大きな LDK 空間を実現。寝室の入口は収納できる引き戸によりつながった一つの空間、またはプライバシーを確保した別空間としても利用可能な工夫がなされている。経年により定期的に交換が必要なボイラーや給湯器、便器、洗面台などの設備機器は、埋設された配管も含め、古いものは全て交換し、以降長く利用できるよう配慮している。

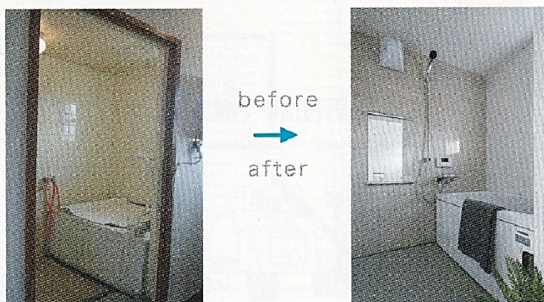
### ■ KITCHIN 作業性を高めたアイランドカウンター



### ■ CLOSET 柔らかく仕切る事で空間を広く感じさせるベットのルームのクローゼット



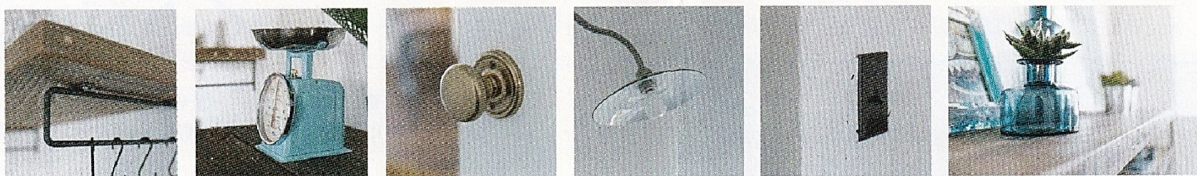
### ■ BATH 在来工法の浴室を追炊き式のユニットバスに



### ■ SANITARY 間仕切りを撤去し広々とし空間に



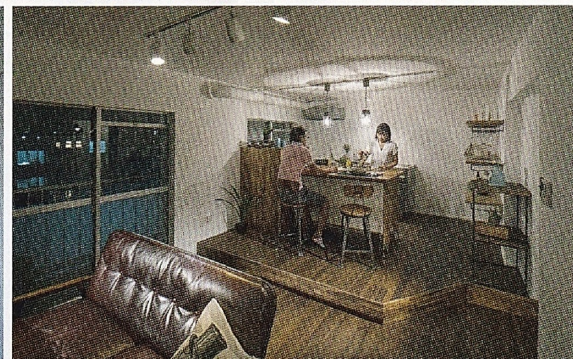
### ■ DETAIL 建設当時の照明の再利用、真鍮風ドアノブ、タイル・・・ 細部にも自分らしさを表現できるのがリノベーションの醍醐味と言える





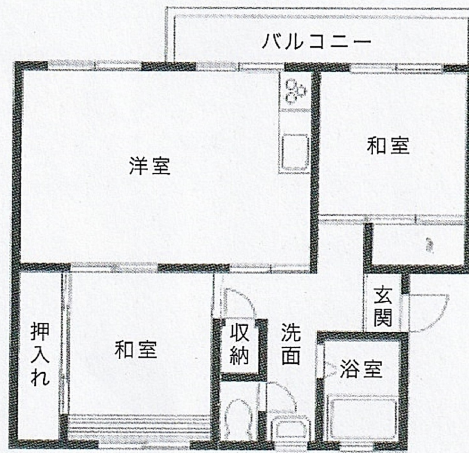
まるで馴染みのカフェにいるような懐かしさを感じる空間

大きく育った敷地内の樹木や30年超の歴史を重ねた団地建物はヴィンテージレジデンスといえる。その歴史を感じられる住空間にすべく、内装材にも歴史を重ねた古材やフローリングを使用。一部、コンクリートの躯体現し（あらわし）とするなど、素材感を重視した仕上げとした。



## PLAN

ほぼ団地建設当時のままであった間取りを変更。  
開放的で光と風が通り抜けるプランにしました。



before



after

